

# KoKoRo (こころ) をこめて KKR 東海病院 健康通信

第 92 号

平成 18 年 6 月号



## 『MDCT 装置を導入および検査開始のご紹介』

診療放射線技師 加藤直樹

東海病院では、シングルヘリカル CT と呼ばれ、検出器が 1 列の装置を使用してきましたが、近年の医療技術、医療機器の進歩は目覚しく、当院でも、この進歩に乗り遅れないよう、4 月より新しい CT 装置 (MDCT) を導入しました。

導入した装置は、東芝社製 Aquilion16 といい、X 線を受ける検出器が 16 列ある装置で、16 列 MDCT (MultiDetector-row CT 装置といわれる装置であります。従来の装置は、1 秒に 1 回転、1 枚の横断像が得られましたが、このたび導入した MDCT は、0.5 秒に 1 回転、16 枚の横断像が得られ、一度に撮影できる断面数が多く、広い範囲をすばやく撮影できます。また、薄い断面を撮影できますので、いままでより多くの有用な情報が得られようになりました。

### MDCT の特徴をご紹介します

#### 1) 撮影時間が短縮され、検査が楽に！

従来の装置では、1 秒間に 1 枚の画像しか得られませんでした。この度、導入した装置では 0.5 秒に 16 枚 (最速時) の画像が得られます。検査の内容によっても変わりますが、胸部や腹部の撮影であれば、10 秒程度の息止めで撮影が可能です。

#### 2) 高精細・高画質で、より正確な診断が可能！

高精細な撮影も可能で、1mm 以下の薄い断面を得ることができ、小さな病気をも見つけることができるようになりました。また、最小 0.5mm の情報が収集でき、冠動脈の三次元画像、心機能解析、腹部血管の三次元画像、骨 3D 等がきれいに再構成できます。

#### 3) X 線の被曝を少なく！

被曝を少なくするという面でも優れたソフトが開発され、撮影しながら自動的に体の厚みを感じし撮影条件を適正にし被曝量を少なくしています。

以上のように、新しい CT は「速く、精密に、きれいに」撮影できるといった特徴をもっています。この装置によって、患者さまには検査時の負担を少なくし、従来よりも詳しく、楽に検査を受けて頂きたいと思っています。

〒464-8512 名古屋市千種区千代田橋 1-1-1

KKR (国家公務員共済組合連合会) 東海病院

TEL 052-711-6131